

冒頭、議長を大風薫会員に依頼することが全会一致で承認された。

出席者数 24名

## 2025 年度 家族関係学部会 総会

(議事録概要版)

日 時：2025 年 10 月 11 日(土) 16 時 30 分～17 時 30 分

場所：静岡県立大学 小鹿キャンパス 講堂

# 2025 年度 家族関係学部会総会次第

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事

## ＜報告事項＞

1. 2024 年度事業報告および 2024 年度収支決算報告の役員会協議の結果 (奥田)
2. 会費納入状況 (森田)
3. 入退会の動向と会員区分 (永田)
4. ニューズレター発行、HP 更新、メルマガ配信の状況について (中川)
5. 部会誌の編集について (中谷)
6. 部会誌バックナンバー販売と保管の状況について (永田)
7. 2025 年度 (第 45 回) 家族関係学セミナーについて (冬木)
8. 日韓学術交流について (奥田)
9. その他

## ＜協議事項＞

1. 入退会者の承認 (永田)
2. 2026年度事業計画 (案) について (奥田) 【資料 1】
3. 2026年度収支予算書 (案) について (森田) 【資料 2】
4. 賛助会員の規約改正 (案) について (奥田) 【資料 3 (別紙)】
5. 2026年度 (第46回) 家族関係学セミナーについて (奥田)
6. その他

## 【報告事項】

### 1. 2024年度事業報告および2024年度収支決算報告の役員会協議の結果（奥田）

2025年5月14日（水）に開催した役員会（オンライン開催）において、2024年度事業報告、2024年度収支決算について協議し、承認した。

→以上の報告があった。

### 2. 会費納入状況（森田）

(1) 2025年4月1日～2025年9月30日現在 会費納入必要会員数 156名（名誉会員7名）

(2) 会費未納者

3年分の未納者 5名・・・今年度未納の場合に除籍対象者

2年分の未納者 11名

1年分の未納者名 30名（正会員26名、学生4名）

2024年度未納者 61名（2024年度会費の納付率 63.3% 昨年比 13.4%減）

2025年度未納者 46名（2025年度会費の納付率 70.5% 昨年比 7.2%増）

→以上の報告があった。

### 3. 入退会の動向と会員区分（永田）

(1) 入会希望者 2名

内訳 日本家政学会非会員（入会申込時）・審議対象：2名

小河映育花（お茶の水女子大学・院）

聶逸君（日本女子大学・院）

(2) 退会者 15名

①退会届提出者：9名

・2025年3月31日退会：6名

泉光世、岩科志津子、山崎千慧子、岡野雅子、上野文枝、曾環蕙

・2026年3月31日退会：3名

小西凌、大後みき子、倉元綾子

②除籍対象者：5名（2023年度～2025年度 3年会費未納）

駒井彩、駒田笑奈、中原朝子、矢野（宗像）裕子、山田桃子

③ご逝去による退会該当者：1名

清水浩昭

(3) 会員数

2025年9月30日現在 163名（暫定会員含む）

※入退会承認後（2025年10月11日現在）158名（昨年度比 10減）

→会費納入必要会員数 151名（名誉会員 7名）

(4) 会員区分

【会員区分内訳】（2025年10月11日入退会承認後 158名）

一般会員 140名

学生会員 11名

名誉会員 7名

（参考 家政学会：会員 80名、非会員 69名、不明 9名）

→以上の報告があった。

### 4. ニューズレター発行、HP更新、メルマガ配信の状況について（中川）

(1) ニューズレターの発行 2回（メール配信）

2025年 2/21（169通） 7/10（160通）

(2) HP更新、メルマガ配信の状況

・HPの更新 6回

2024年 12/25 2025年 1/8、2/21、7/10、7/12、9/5

- ・メールマガジンの配信 3回 (第31～33号)

2024年 12/20 (168通)

2025年 6/9 (163通)、9/8 (161通)

→以上の報告があった。

## 5. 部会誌の編集について (中谷)

- (1) 第44号編集現況について、12月12日印刷完了・12月13日発行・12月19日発送 (予定)

構成

特集 「人生をどう締めくくるのか—終活ブームの背景にある家族と社会の変化—」

論文 1本掲載予定 (投稿6本)

政策動向 「ケアの社会化と家族介護者支援をめぐる政策動向」

文献紹介 4件

- (2) 部会誌印刷・発送費について (確認中: 参考までに43号の見積もりを掲載)

印刷費: No.43見積110頁想定 @210冊 296,100円 (税込)

非会員贈呈用抜き刷り30部 3名分 16,020円 (税込)

発送費: 発送業務委託 31,214円 (税込)

- (3) J-Stageについて

現状では、27号～43号までを公開中

J-Stage参照 [https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjfr/\\_pubinfo/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjfr/_pubinfo/-char/ja)

→以上の報告があった。(2)(3)について口頭にて追加報告があった。

- (2) について、No. 44の見積もりが口頭で報告された。

印刷費: No. 44見積110頁想定 @210冊 260,400円 (税込)

非会員贈呈用抜き刷り30部 3名分 10,680円 (税込)

発送費: 発送業務委託 39,140円 (税込)

- (3) について、今後著作権委譲についてホームページ等で依頼すること、オープンアクセス化の検討を進めていくことが口頭で報告された。

## 6. 部会誌バックナンバー販売と保管の状況について (永田)

- ・部会誌販売の状況 (2024.10.8～2025.9.30)

販売: No.41 (1冊)、No.43 (1冊) 合計2冊

- ・部会誌の保管状況 合計360冊 (9月30日現在)

30号	9
31号	8
32号	9
33号	6
34号	10
35号	10
36号	5
37号	31
38号	21
39号	53
40号	43
41号	49
42号	17
43号	6

→以上の報告があった。

## 7. 2025年度 (第45回) 家族関係学セミナーについて (冬木)

- (1) 2025年10月11日 (土)～12日 (日) 開催校: 静岡県立大学小鹿キャンパス

(2) シンポジウム「制度・政策と家族関係ーいま、『親』とは何か・『子』とは何かー」

司会 山根 真理（神戸大学）・村田 晋太朗（三重大学）

報告1：親であること、親権者であることー2024年民法改正と「子の利益」ー

犬伏 由子氏（慶應義塾大学名誉教授）

報告2：現代家族と民法改正

関井 友子氏（文教大学教授）

報告3：家庭養護における親子関係再構築の現状と課題ー代替養育から共同養育への

転換ー

音山 裕宣氏（静岡県立大学短期大学部准教授）

討論：菊地 真理氏（大阪産業大学教授）

(3) 活動助成

2025年度日本家政学会活動助成金 50,000円

使途：「公開シンポジウム」の講師謝金（家政学会非会員2名、会員1名）

2025年度静岡県立大学研究集会助成金 88,000円

使途：要旨集製本・印刷、学生アルバイト謝金

(4) 自由報告 2分科会 合計8報告

→実行委員長冬木春子会員より、以上の報告があった。

## 8. 日韓学術交流について（奥田）

2026年度のセミナーにて開催する。来年度は日本側が韓国からシンポジストを招聘する番であり、シンポジウムのテーマが決まり次第、韓国側の先生と協議を行う予定である。

→以上の報告があった。

## 9. その他

→特になかった。

## 【協議事項】

### 1. 入退会者の承認（永田）

→報告事項3の入退会者（審議対象者）について承認された。

### 2. 2026年度事業計画（案）について（奥田）【資料1】

→資料1のとおり承認された。

### 3. 2026年度收支予算書（案）について（森田）【資料2】

→資料2のとおり承認された。

### 4. 賛助会員の規約改正（案）について（奥田）【資料3】

→資料3のとおり承認された。

### 5. 2026年度（第46回）家族関係学セミナーについて（奥田）

→東京家政大学の平野順子会員を実行委員長として2026年度開催されることが承認された。

## 6. その他

→特になかった。

## 2026年度事業計画（案）

### 1. 研究発表会、公開講演会等の開催

#### (1) 公開シンポジウム

日程：未定

会場：東京家政大学

テーマ：制度・政策と家族関係

シンポジスト：未定

#### (2) 研究発表会

日程：未定

会場：東京家政大学

### 2. 部会誌の刊行

「家族関係学」No.45 2026年12月1日刊行予定

### 3. 部会誌のJ-STAGE公開

「家族関係学」No.45 バックナンバーのJ-Stage登載

### 4. 研究及び調査の実施

実施せず

### 5. 研究の奨励及び研究業績の表彰

実施せず

### 6. 海外学術交流の実施

日韓学術交流を2026年度家族関係学セミナーのなかで実施する

### 7. その他、目的を達成するために必要な事業

#### (1) ニューズレターの発行 2回

#### (2) ホームページの管理・更新、メルマガの配信

### 8. 部会総会等の開催

#### (1) 2026年度通常総会

2026年度家族関係学セミナーのなかで開催する

#### (2) 部会役員会、各種役員会等

・役員会の開催（年2回）

・第46回家族関係学セミナー実行委員会（4回）

・部会誌編集委員会10回（メール会議）

・その他

### 9. その他

【資料2】

一般社団法人日本家政学会家族関係学部会 2026年度予算書（案）

<③家族関係学部会>2026年度予算書

(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

科 目	注意	2026年度	2025年度	差異	備考
一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①基本財産運用益	(本部のみ)				
特定資産運用益	大会基金となっている定期預金の利息				
入会金					
年会費		770,000	770,000	0	一般会員0.5万円×150人+学生会員0.2万円×10人
会誌購読料		32,340	32,340	0	定期購読14団体×0.231万円
大会等参加費		285,000	285,000	0	大会参加0.3万円×50名、懇親会費0.45万円×30名
広告料					
刊行物売上		2,000	2,000	0	
著者負担金					2020年度著者負担金廃止による
補助金	(名称と交付者を備考欄に記載願います。)				
一般寄付金	活動全般に使ってよい寄付金				
特別寄付金	用途を限定した寄付金				
雑収入	普通預金利息	100	100	0	
②本部からの支部費	(支部のみ、選挙の為の通信費も含む)				
本部からの支部活動活性化サポート費	(支部のみ)				
本部からの活動助成費	活動助成金額(税金も含む)	40,000	80,000	▲ 40,000	2024年度実績ベース(約4万円)
経常収益計		1,129,440	1,169,440	▲ 40,000	
(2) 経常費用					
①事業費					
大会会場使用料		1,298,000	1,118,000	180,000	
大会講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)	40,000	40,000	0	会場費
大会旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い	100,000	0	100,000	国際交流(日本への招へいに関する宿泊費と国内滞在費)
大会消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む	170,000	170,000	0	懇親会、弁当代、お菓子、文具、会合費等
大会印刷費					
大会研究発表要旨集作成費		75,000	75,000	0	紙ベースの配布前提
大会通信運搬費		30,000	30,000	0	例年通り
大会臨時雇賃金					
総会費					
セミナー・講演会会場使用料					
セミナー・講演会等講師謝金	講師への支払い総額(旅費交通費含む)	120,000	120,000	0	外部講師2名として、講演7万円+交通費3万円+宿泊費2万円
セミナー・講演会等旅費交通費	実行委員会メンバーなど講師以外への支払い	60,000	60,000	0	実行委員会メンバー6名×1万円
セミナー・講演会等消耗品	文具等だけではなく弁当代、懇親会費等も含む				
セミナー・講演会等印刷費					
セミナー・講演会等研究発表要旨集作成費					
セミナー・講演会等通信運搬費					
セミナー・講演会等臨時雇賃金		48,000	48,000	0	学生アルバイト等
学会誌等関連印刷費		370,000	320,000	50,000	2024年度実績ベース(約37万円)
学会誌等関連通信費		10,000	30,000	▲ 20,000	2024年度実績ベース(1万円未満)
学会誌等関連原稿料・校閲料等		10,000	10,000	0	
学会誌等関連電子ジャーナル化費用		150,000	120,000	30,000	j-stage登録費用: デジタル化・アップロード 2024年度実績ベース(約15万円)
研究補助費					
表彰費	奨励賞等				
関連学会等会費					
会議費	会議用のお菓子、お茶等				オンライン開催前提
広報費	ホームページ等	70,000	50,000	20,000	HP管理更新費・作業費、メルマガ、ニュースレター配信費、2024年度実績ベース(約7万円)
旅費交通費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する旅費交通費	10,000	10,000	0	(2024年度実績ベース 0円)
事務委託費		30,000	30,000	0	2024年度実績ベース(約3万円)
支払負担金	振込手数料	5,000	5,000	0	2024年度実績ベース(約0.5万円)
雑費	大会、セミナー・講演会関連以外の事業に関する雑費				
②管理費					
給料手当		120,000	75,000	45,000	
福利厚生費		20,000	20,000	0	年会費発送補助
旅費交通費	(本部のみ)				
通信運搬費	大会、セミナー・講演会関連以外の通信運搬費	70,000	30,000	40,000	2024年度実績ベース(約4万円)、選挙対応
備品費					
消耗品費	大会、セミナー・講演会関連以外の消耗品	15,000	10,000	5,000	2024年度実績ベース(約0.4万円)、選挙対応
光熱水料費					
雑費	(本部のみ)				
租税公課	(法人税、消費税等本部のみ計上)				
地代	(本部のみ)				
印刷費	大会、セミナー・講演会関連以外の印刷費	15,000	15,000	0	2024年度実績ベース(約2万円)
修繕費					
減価償却費	(本部のみ)				
リース料					
事務所管理費					
退職給与引当金繰入額	(本部のみ)				
③支部費					
支部活動活性化サポート費	(本部の支出を計上する欄)				
活動助成費					
経常費用計		1,418,000	1,193,000	225,000	
当期経常増減額		▲ 288,560	▲ 23,560	▲ 265,000	
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	(例えば不動産を売る等、通常の活動外での収入、支出などのほぼ該当なし)				
(2) 経常外費用					
当期経常外増減額					
当期一般正味財産増減額		▲ 288,560	▲ 23,560	▲ 265,000	
一般正味財産期首残高	(2025年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,546,323	3,546,323	0	
一般正味財産期末残高	(2026年度末の定期預金、普通預金、現金等の全ての金額)	3,257,763	3,522,763	▲ 265,000	

## 賛助会員の規約改正（案）について

現行の規約には、会員種別ごとの権利義務について記載がなく、賛助会員と正会員の年会費も同額であるため、違いが明確ではない。現在賛助会員としての入会を検討する団体があることから、

（1）年会費についての現行の規約を改正するとともに、（2）ホームページの入会案内の金額を規約に準じて改定し、入会申込書に、賛助会員の権利義務を説明する一文を追加する。

### （1）年会費

一般社団法人日本家政学会家族関係学部会規約 新旧対照表

新	旧
<p>第3条 会員及び会費</p> <p>正会員は、原則として一般社団法人日本家政学会会員であり、かつ本会の目的に賛同し、本会の活動に参加する者とする。ただし、一般社団法人日本家政学会会員でない者の資格については、総会の議を経て、正会員とする。</p> <p>2 会員の会費の年額は、正会員 5,000 円、学生会員 2,000 円とし、本会会計年度当初に納めることとする。ただし、2年分を前納することができる。</p> <p><u>3 賛助会員は、本会の目的に賛同し、所定の会費を納める者とする。会費の年額は1口 5,000 円とし、1口以上を納めることとする。</u></p> <p>4 名誉会員は、本会に功労のあった年齢 75 歳以上の正会員で、役員の推薦により、委員会の議を経て、総会で承認された者とする。年会費は徴収しない。</p>	<p>第3条 会員及び会費</p> <p>正会員は、原則として一般社団法人日本家政学会会員であり、かつ本会の目的に賛同し、本会の活動に参加する者とする。ただし、一般社団法人日本家政学会会員でない者の資格については、総会の議を経て、正会員とする。</p> <p>2 会員の会費の年額は、正会員 5,000 円、学生会員 2,000 円とし、本会会計年度当初に納めることとする。ただし、2年分を前納することができる。</p> <p>3 賛助会員は、本会の目的に賛同し、所定の会費を納める者とし、その会費は年間 5,000 円とする。</p> <p>4 名誉会員は、本会に功労のあった年齢 75 歳以上の正会員で、役員の推薦により、委員会の議を経て、総会で承認された者とする。年会費は徴収しない。</p>
<p>[付 則]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本会則は昭和 55 年 6 月 6 日から施行する。</li> <li>2. 本会則は昭和 57 年 6 月 26 日から施行する。</li> <li>3. 本会則は昭和 62 年 10 月 10 日から施行する。</li> <li>4. 本会則は平成 9 年 9 月 27 日から施行する。</li> <li>5. 本会則は平成 12 年 10 月 15 日から施行する。</li> <li>6. 本会則は 2007 年 10 月 13 日から施行する。</li> <li>7. 本会則は 2010 年 5 月 29 日から施行する。</li> <li>8. 本会則は 2011 年 10 月 22 日から施行する。</li> <li>9. 本会則は 2014 年 10 月 11 日から施行する。</li> <li>10. 本会則は 2017 年 4 月 1 日から施行する。</li> <li>11. 本会則は 2018 年 10 月 14 日から施行する。</li> <li><u>12. 本会則は、2025 年 10 月 12 日より施行する。</u></li> </ol>	<p>[付 則]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本会則は昭和 55 年 6 月 6 日から施行する。</li> <li>2. 本会則は昭和 57 年 6 月 26 日から施行する。</li> <li>3. 本会則は昭和 62 年 10 月 10 日から施行する。</li> <li>4. 本会則は平成 9 年 9 月 27 日から施行する。</li> <li>5. 本会則は平成 12 年 10 月 15 日から施行する。</li> <li>6. 本会則は 2007 年 10 月 13 日から施行する。</li> <li>7. 本会則は 2010 年 5 月 29 日から施行する。</li> <li>8. 本会則は 2011 年 10 月 22 日から施行する。</li> <li>9. 本会則は 2014 年 10 月 11 日から施行する。</li> <li>10. 本会則は 2017 年 4 月 1 日から施行する。</li> <li>11. 本会則は 2018 年 10 月 14 日から施行する。</li> </ol>

(2) 「入会案内」の賛助会員年会費の記載と「入会申込書」への説明文の追加について

① 入会案内に掲載する賛助会員の年会費

新	旧
正会員（5,000 円） 学生会員（2,000 円） <u>賛助会員（1 口 5,000 円）</u>	正会員（5,000 円） 学生会員（2,000 円） 賛助会員（5,000 円）

② 入会申込書に追加する賛助会員の説明

「賛助会員は、正会員・名誉会員と共同で実施した研究成果を発表する場合に限り、学術集会での発表者（筆頭発表者を含む）及び、部会誌への投稿者（筆頭著書を含む）となることがあります。